

# CITIZEN

## USB 仮想 COM (VCOM) ドライバーガイド

2024/9/2

シチズン・システムズ株式会社

## A、はじめに

本書は、弊社モデルの USB インターフェースの仮想 COM (VCOM) ドライバーについて説明しています。本ドライバーは、Windows 上にてプリンターの USB ポートを仮想的にシリアルポートとして動作させるためのものです。シリアルポートから印刷するアプリが、USB に接続したプリンターに印刷できるようになります。

本書は、必ず仮想 COM ドライバーをご使用になる前にお読みになってください。

## B、プリンターの条件

仮想 COM ドライバーが動作するためには、プリンターの USB ポートが仮想 COM モードである必要があります。

仮想 COM モードにする方法は、プリンターにより異なります。

**POS プリンター** (CT-S280 を除く CT-S x x x / PPU700II / PMUxxxxI)

MSW5-3 USB モードを仮想 COM に設定します。

**CP-P29 x**

DIP スイッチ No.3 を OFF にします。(出荷時設定のまま)

**ラベルプリンター** (CLP-5xx / 6xx / 8300 / CL-Sxxx / CL-Exxx、CLP は Firmware Ver が新しいものに限る)

インターフェース設定 → USB デバイスクラスで VCOM を選択

CT-S280 (と PPU2 x x x タイプ 1) については、本仮想 COM ドライバーは使えません。

CT-S280 専用の仮想 COM ドライバーのインストーラーが用意されていますので、そちらをお使いください。

## C、PC 側の条件

OS : Windows XP、Vista、7、8、8.1、10、11 及びこれらの派生 OS (32/64bit)

(派生 OS では、必要なコンポーネントが含まれていること)

USB ポートがあること

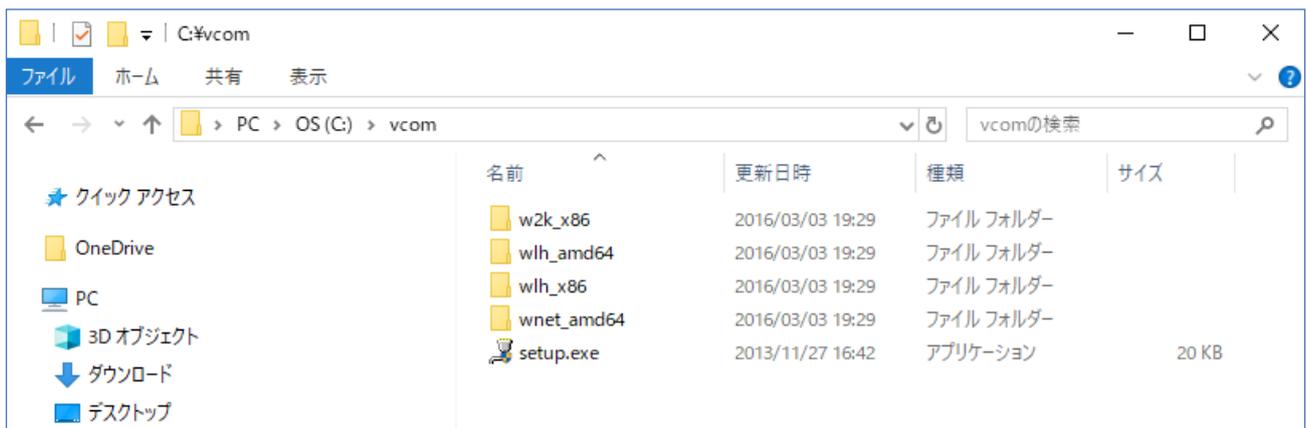
他のデバイス用の仮想 COM ドライバーがインストールされていないこと (正しく動作しないことがあります)

## D、インストール手順

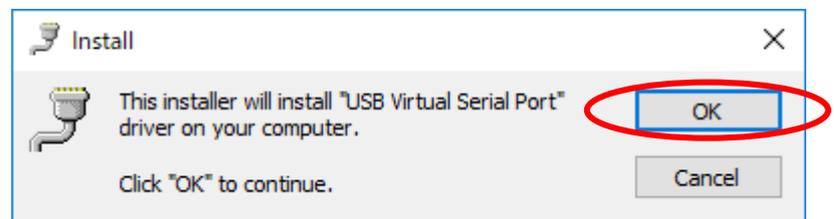
ここでは、Windows 10 を元に手順を説明していますが、他の OS でも、手順はほぼ同じです。

- 1、プリンターの USB ポートが「仮想 COM」モードになっていることを確認してください。
- 2、プリンターの電源がオフの状態、PC とプリンターを USB ケーブルにて接続します。
- 3、ZIP ファイルを展開します。(仮想 COM ドライバーを ZIP ファイルで入手している場合)
- 4、展開したフォルダー内の setup.exe を実行します。

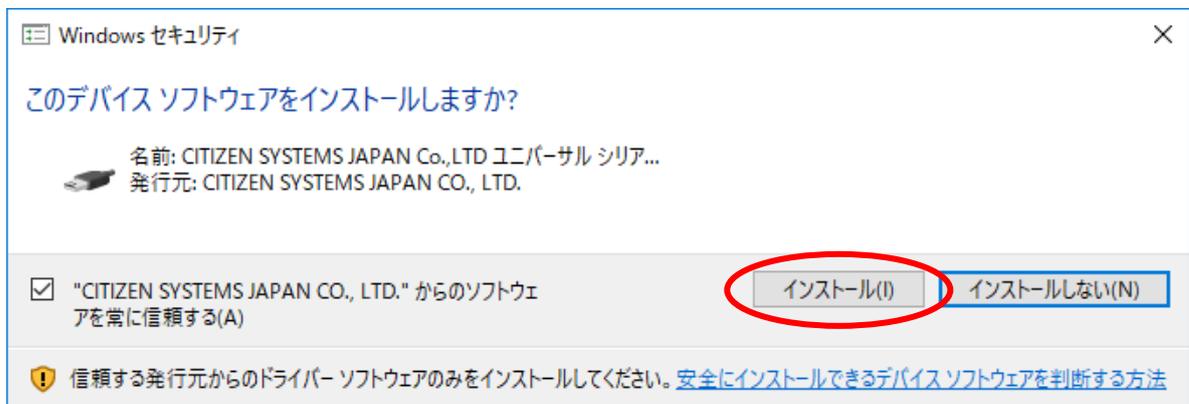
(サブフォルダー内にも同名のファイルがありますが、このフォルダーのものをお使いください)



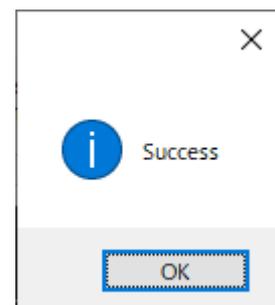
5、USB Virtual Serial Port setup という名前でユーザーアカウント制御の画面になり、「はい」を押すと、下記の「Install」の画面が出るので「OK」を押します。



6、「このデバイスソフトウェアのインストールしますか？」の画面が出るので、「インストール」を押します。



以降は、インストールウィザードに従って、インストールを進めてください。  
インストールが成功すると右の画面が出ます。



7、仮想 COM ドライバーのインストールが終わったら、プリンターの電源を入れます。

ここで、追加のウィザード画面が出る場合があります。

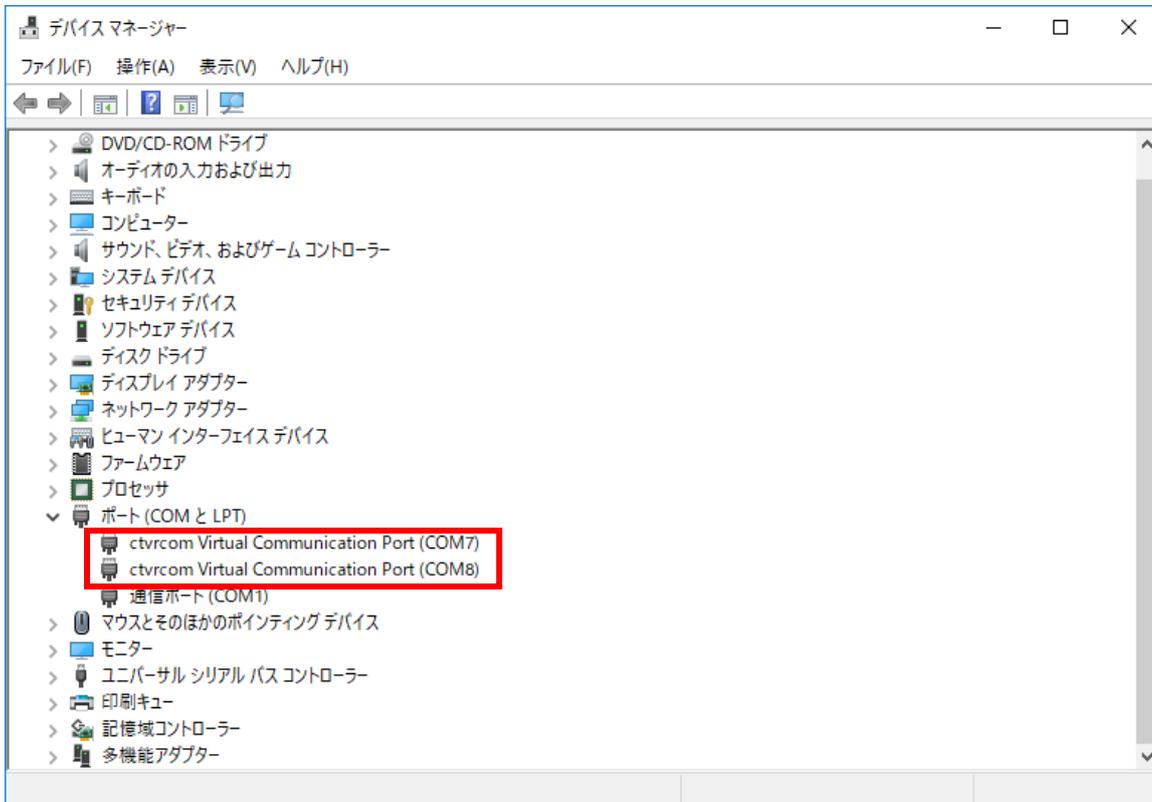
（推奨）とある選択肢の選択や「続行」ボタンなどで、インストールを完了させてください。

環境によっては、ここで再起動したほうが良い場合があります。

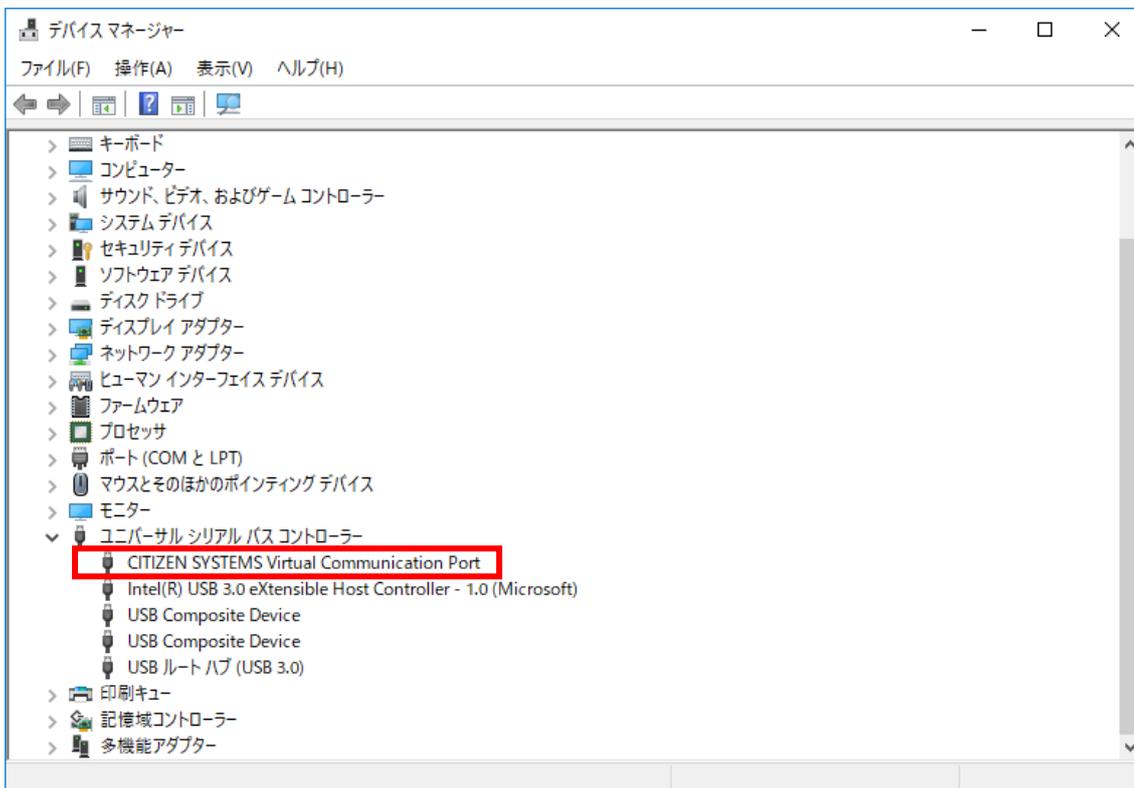
## E、インストール結果の確認

デバイスマネージャーにて、ドライバーが正しくインストールされているかをご確認ください。

ポート：「ctvcom Virtual Communication Port」ができています。（通常は、COM 7 とCOM8）

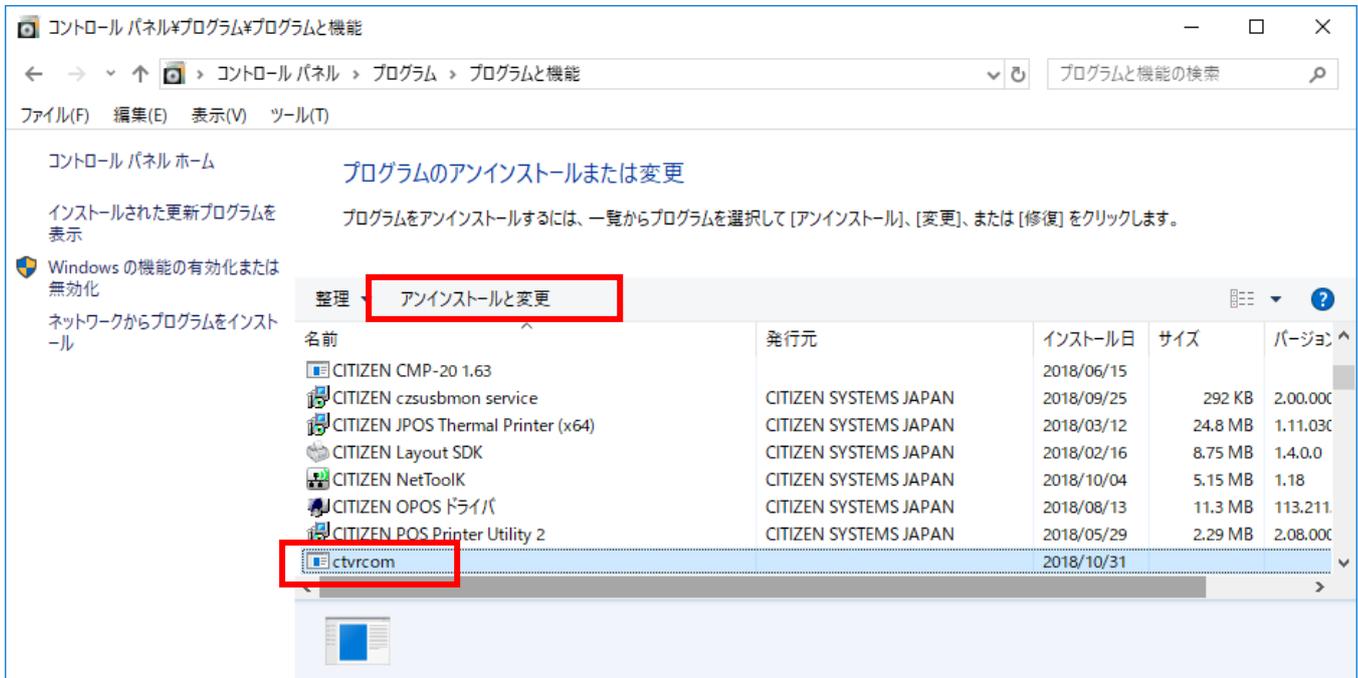


USBコントローラ：仮想COMモードのプリンターの接続で「CITIZEN SYSTEMS Virtual Communication Port」がでます。



## F、アンインストール

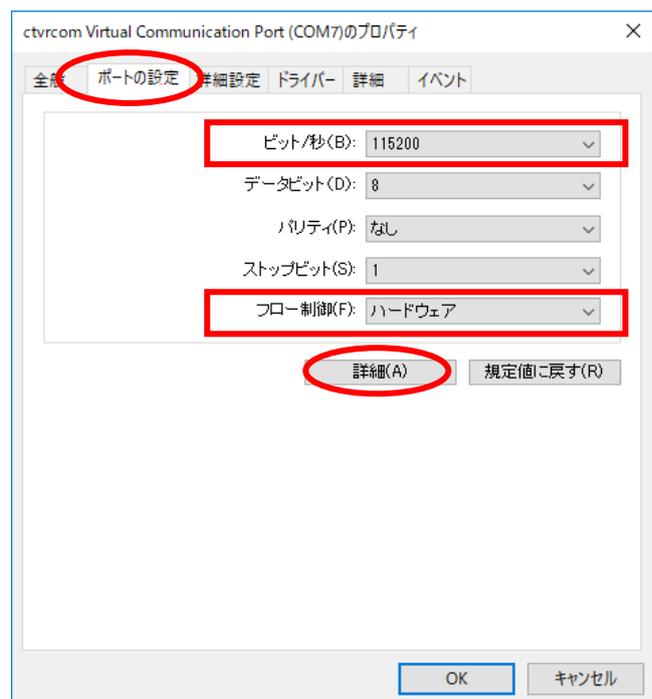
ドライバーの削除をするには、「コントロールパネル」の「プログラムのアンインストール」にて「ctvrcom」を選び、「アンインストールと変更」を押します。これで、Uninstall 画面が出るので、指示に従ってください。



## G、ポートの設定と詳細設定

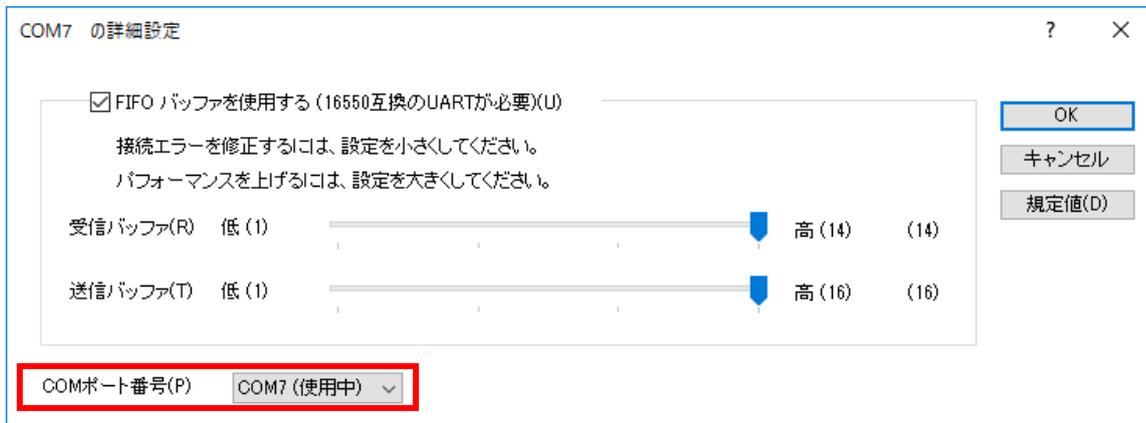
通常のシリアルポートの通信と違い、PC やプリンターの設定とは関係なく、ボーレートは 115200bps、ハードウェアフロー制御を使って通信しています。

デバイスマネージャーで仮想 COM ポートを選んだまま右クリックでプロパティを選び、ポートの設定タブを選ぶと下の画面が出ますが、ここで設定を変更しても影響することはありません。



この画面で、「詳細ボタン」を押すと、下の画面が出ます。

COM ポート番号を変更したい場合、変更したい COM ポート番号が使われていなければ、この画面で変更できます。

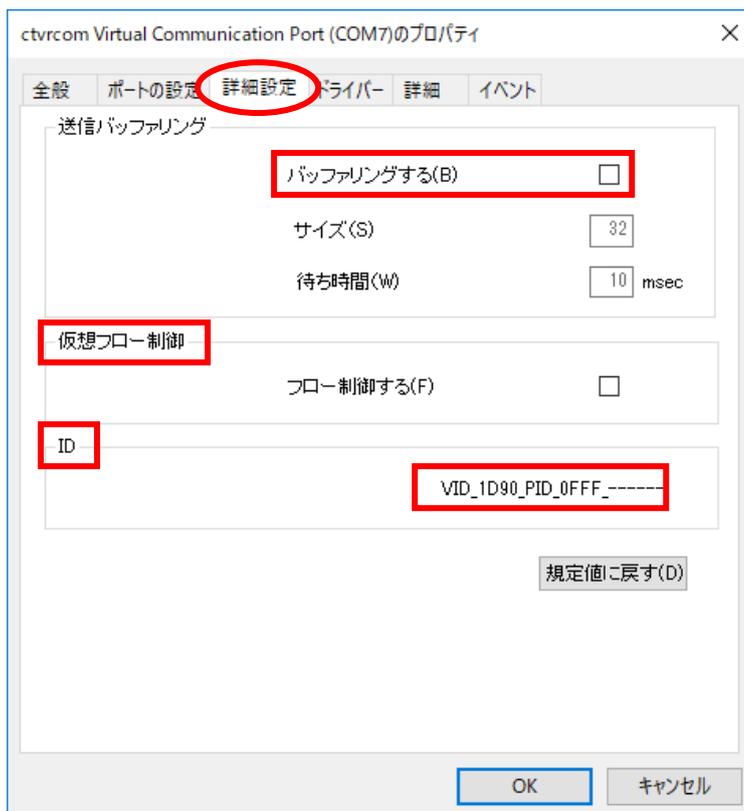


**送信バッファリング**：アプリの作り方によって、仮想 COM ドライバーでの通信が非常に遅くなる場合があります。

その場合は、詳細設定のタブにある、「バッファリングをする」を有効にしてください。

サイズや待ち時間は、基本的に調整する必要はありません。

**仮想フロー制御**：有効にしないでください。



## ID

COM 7 と COM 8 の ID は、別になっています。

これはプリンターにより仮想 COM の ID が違うためですが、プリンターに合った正しい ID の仮想 COM を使う必要があります。

COM8 (VID:2730, PID:0FFF) → POS 系の古いモデル (CT-S310/2000/4000/CT-P29x)

COM7 (VID:1D90, PID:0FFF) → その他のモデル

注) 仮想COMポート番号

COM7やCOM8がすでに使用されている場合など、PCのCOMポートの状況により、他のポートが割り当てられることがあります。

仮想 COM ドライバーのデフォルトのポートとして、COM7やCOM8以外のポートを割り当てることも可能ですので、必要な場合は、弊社までお問合せください。